

2025年度日系社会研修 コース概要

NO.	11
所管センター	沖縄
分野	医療・介護・高齢化対策
研修コース名（日）	5S-KAIZENを通じた病院における安全とサービスの質向上
受入人数	6
受入時期	上半期
来日日	2025年5月11日（日）
帰国日	2025年6月14日（土）
提案団体（日）	株式会社ティーエーネットワーク
提案団体 ウェブサイトアドレス	http://www.ta-n.com/
研修員必要資格	・医師、看護師、薬剤師等の医療従事者 ・事務管理職（医療施設において管理者経験があるもの）、もしくは、将来管理者として従事する可能性があるもの。 （帰国直後から、所属先で中心となって5S-KAIZENの実施・展開を期待するため。）
研修員に必要な 実務経験年数	実務経験3年以上
日本語能力（選択） ※日本語能力試験認定の目安参照	不問
英語能力（選択）	不問
研修目標	研修員が、研修を通して5S-KAIZENを理解し実践する能力を身に付け、修得した知識を活用することで、病院の安全とサービスの質の向上に貢献する。
期待される成果 （習得する技術）	1. 研修員が、5S-KAIZENの知識を修得することによって、管理意識が向上する。 2. 研修員が、日本の病院を見学することによって、5S-KAIZENの実践と院内実施体制を理解する。 3. 研修員が、日本における患者満足度の向上に係る取り組みを理解し、自国での応用可能性について具体的な考えを得る。 4. 研修員が、研修で修得した知識、技術、情報に基づき、具体的実践計画を作成する。
研修計画 （内容）	1. 講義：5S-KAIZENを通じた病院改革、5Sの概要、院内感染予防からみた5S、医療機材と5S、院内感染対策と医療廃棄物（5Sツールの活用）、5SからKAIZENへ～KAIZENとは、KAIZEN 7ステップ、医療安全管理部活動について、日本の保健医療制度（支払いシステムと健康21）、KAIZEN業務プロセスマッピング、パレートチャート（KAIZENツール含む）、フィッシュボーンチャート、問題分析と目的分析、プロブレムツリーとオブジェクティブツリー、SWOT分析、チェックリストの活用、カンバン方式を活用したモニタリング、モチベーション管理、リーダーシップ、リーダーシップとサポーティブスーパービジョン、心理的安全、危険予知トレーニング、プロジェクト・サイクル・マネジメント、コミュニケーション概論、医療安全の取り組み、医療安全の具体的な取り組み、PDCAサイクル、習慣化の心理学 2. 実習：ポスター発表のガイダンス、ポスター作成、プロセスマッピング演習、パレートチャート作成およびディスカッション、フィッシュボーンチャート作成およびディスカッション、プロブレムツリーとオブジェクティブツリー作成、ディスカッション、SWOT分析、カンバン方式による業務の見える化、リーダーシップ、チームビルディング、日本文化体験、コミュニケーション演習、PDCAサイクル演習、習慣化演習、具体的実践計画の策定 3. 見学：病院（5S-KAIZEN-TQMの展開、情報管理システム管理、安全管理等）、沖縄県立図書館（移民資料コーナー、バックヤード見学） 4. 発表：ジョブレポート・事例紹介（ポスター形式）、具体的実践計画発表

本研修実施の意義 中南米日系社会への裨益効果	本研修は、5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）及びKAIZENのツールを用いて、日本の医療現場における業務環境改善の経験を学ぶことで、所属先における生産性や医療サービスの質、患者満足度の向上を目指し実施する。また、5S-KAIZENの定着並びにTQM（Total Quality Management）へと進むためには、院内実施体制の確立と強化が不可欠である。本研修を通じて、コスト管理、情報管理、サービスの効率的提供、医療安全、スタッフの士気向上、組織としてのモラルの確立等を体系的に学び、病院全体の管理能力の向上を図ることで、安全で質の高い医療サービスを提供できることを目的としている。 そして、研修終了後、研修員が自国へ戻り、研修で修得した知識と技術を実践、普及、継続することで、日系社会において、より安全で質の高い医療サービスの提供に寄与することができる。
応募希望者への特記事項	研修は日本語またはスペイン語で実施し、通訳同行者又は研修監理員もスペイン語を配置予定です。そのため、研修参加には資料作成・発表・レポート作成ができるスペイン語能力が必要です。